

平成29年度 社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業報告

「住民主役の支えあいのまちづくり ～安心して暮らせる地域を育むために～」の基本理念のもと、地域共生社会の実現をめざし、「まいさぼ東御」を中心に、総合相談の窓口として生活や就労に困っている市民に向き合い、寄り添いながら自立した生活が送れるよう支援しました。

また、住みなれた地域で安心して暮らしていかれるよう、各種団体等と連携協働し、行政とパートナーシップをはかりながら『住民主役の支えあいのまちづくり』を進めるため、地域での支えあいの福祉活動の推進に取り組みました。

平成29年4月から平成30年3月までの主な事業は、次のとおりです。

I. 組織運営の強化・人材育成

1. 法人組織の運営・体制の強化

(1) 理事会（6回）

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第 66 回 29. 6. 2 (金)	15 人	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員候補者の推薦について ・平成 28 年度事業報告及び一般会計決算について ・東御市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・評議員会の議題について
第 67 回 29. 6. 23 (金)	11 人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長・常務理事の選任について ・顧問の委嘱について
第 68 回 29. 8. 3 (水)	11 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度一般会計補正予算（第 1 号）について
第 69 回 29. 12. 1 (金)	11 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度前期事業の概要並びに一般会計中間決算の状況について ・評議員候補者の推薦について ・平成 30 年度事業計画について
第 70 回 30. 2. 7 (水)	11 人	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の推薦について ・評議員会の開催について
第 71 回 30. 3. 20 (火)	11 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度一般会計補正予算（第 2 号）について ・平成 30 年度事業計画及び一般会計予算について ・評議員会の開催及び議題について

(2) 評議員会（4回）

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第 34 回 29. 6. 22 (木)	17 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業報告及び一般会計決算について ・理事・監事の選任について ・東御市社会福祉協議会社会福祉充実計画について
第 35 回 29. 8. 30 (水)	18 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度一般会計補正予算（第 1 号）について

第36回 30.2.15日(水)	19人	・理事の選任について
第37回 30.3.27日(火)	18人	・平成29年度一般会計補正予算(第2号)について ・平成30年度事業計画及び一般会計予算について

(3) 監査

○税理士による事前監査

平成29年 5月16日(火)

平成29年10月30日(月)

○監事による監査

決算監査 平成29年 5月23日(火) 中間監査 平成29年11月9日(木)

(4) 支部長会

・期 日 平成29年7月10日(月)

・会 場 総合福祉センター 講堂

・参加者 58人

・内 容 ① 平成29年度 社会福祉協議会の会費募集について
② 平成29年度 赤い羽根共同募金の取り組みについて

(5) 法人内の連携

・各種プロジェクト(広報・福利厚生)の設置・推進

・グループウェアの導入で、情報共有をはかる

・社協発展・強化計画の推進 係での目標設定と検証

(6) 情報共有会議の開催

<全体会> 全4回

○平成29年 4月26日(水) 事業計画説明、発展強化計画について

○平成29年 7月24日(月) 発展強化計画について

○平成29年 10月31日(水) 事業説明(地域福祉)、発展強化計画について

○平成30年 1月31日(水) 社協の相談とは

<部会> 全11回

○内容: 発展強化計画、事例検討、事業課題と情報の共有

平成29年5月30日(火)、6月19日(月)、7月24日(月)、8月21日(月)

9月25日(月)、10月16日(月)、11月27日(月)、12月18日(月)、

平成29年1月15日(月)、2月19日(月)、3月26日(月)

2. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会への寄付

ア. 金銭の寄付

個人 7人	8 団体	総額 1,086,583円
-------	------	---------------

イ. ウェス

個人 17人	9 団体	合計 27件
--------	------	--------

ウ. 物品の寄付

21人	3団体
-----	-----

介護用品		一般物品	食料品
介護ベット 1台	紙おむつ	テレビ1台	米 36kg
ポータブルトイレ 5台	尿取りパット	ハガキ	ジャガイモ 52kg
車椅子 4台	リハビリパンツ	古タオル	カボチャ 2ヶ
浴槽台 1台	介護用品	雑巾	
シャワーチェア 1台	下着類、	毛布	
歩行器 2台		軍手	

(2) 社協会員の加入状況と会費の収納

年度	会員区分	一般会員	賛助会員	法人会員	合計
29年 実績	人数	6,163人	897人	164法人	
	金額	6,158,300円	1,796,000円	1,515,000円	9,469,300円
28年 実績	人数	6,069人	981人	166法人	
	金額	6,067,300円	1,964,000円	1,605,000円	9,636,300円

3. 研修事業・人材育成

(1) 役員研修

① 理事・評議員合同研修会

- ・期 日 平成29年8月30日(水) 29人出席
- ・場 所 総合福祉センター講堂
- ・研 修 「平成28年度決算の状況及び今後の展望」
講師 成澤会計事務所
税理士 成澤 優一朗 氏

② 長野県社会福祉大会

- ・期 日 平成29年9月13日(水) 18人出席
- ・場 所 佐久市コスモホール
- ・内 容
 - 式典、表彰 表彰者 3人
 - 実践報告 「福祉のネットワーク活動について」
佐久市志賀下宿区 区長 神津 忠治 氏
「人は人と生きてこそ人」
特定非営利活動法人 Happy Spot Club
代表 高山 さや佳 氏
 - 講 演 「落語家が語るコミュニケーションの極意」
講 師 三遊亭 多歌介 氏

③ 社会福祉トップセミナー

- ・期 日 平成 30 年 2 月 20 日 (火) 8 人出席
- ・場 所 長野バスターミナル会館「国際ホール」
- ・講 演 「地域共生社会と社会福祉法人への期待」
講 師 厚生労働省 地域力強化検討委員
毎日新聞論説委員 野沢 和弘 氏

(2) 職員研修

- ① 普通救命講習 25 人出席
 - ・期 日 平成 29 年 6 月 16 日 (金)
 - ・研修内容 「普通救命講習」
- ② 接遇研修 26 人出席
 - ・期 日 平成 29 年 9 月 5 日(火)
 - ・研修内容 「接遇研修～応対、接客マナーのスキルアップを目指して」
- ③ メンタルヘルス研修 28 人出席
 - ・期 日 平成 30 年 2 月 26 日 (月)
 - ・研修内容 「メンタルヘルス研修～自分を活かし元気で働くために～」
- ④ 外部研修

苦情対応実践講座、安全運転管理者研修会、社協職員基礎研修会、
会計入門研修会、会計実務講座、企業人権同和研修会、社協中堅・管理職研修
日常生活自立支援事業生活支援員研修会、権利擁護セミナー、
地域の福祉力推進セミナー、信州パーソナルサポート事業支援員研修
心配ごと相談所等相談員研修会、精神障がい者就労支援研修
ひきこもり支援関係者研修会、フードバンク推進セミナー
災害ボランティア運営支援者研修会、市民活動協働を考える研修会
地域共生社会を考える長野フォーラム、支えあいを広げる住民の生活支援セミナー
信州型コミュニティスクール推進セミナー、信州くらしの支えあいネットワーク研修
福祉教育推進フォーラム、地域と学校の連携推進研修、
災害時の連携を考える長野フォーラム、災害時要配慮者支援を考える学習会
ボランティアコーディネーター研修会、日本福祉教育・ボランティア学会
コミュニティデザイン研修会、障がい者スポーツ指導員研修会、
障がい者あいサポートメッセンジャー養成研修、ボッチャ審判講習会、
介護支援専門員実務研修会、上小介護保険事業連絡会研修会、
- ⑤ 上小ブロック役職員研修
 - ・期 日 平成 29 年 11 月 14 日 (火) 11 人出席
 - ・場 所 青木村文化会館
 - ・内 容
 - 研 修 「 地域とつながる元気な社協職員 」
講 師 一般社団法人健康福祉広域支援協会
代表理事 中村 崇 先生
 - 情報交換会
- ⑥ 関東ブロック職員合同研究協議会

- ・期 日 平成 29 年 7 月 13 日 (木) ～14 日 (金) 1 人出席
- ・場 所 埼玉県大宮市ソニックシティ
- ・内 容
 - 基調講演 『「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けた取組と社協に求められる役割を考える』講師：後藤 真一郎 氏 (厚生労働省 地域福祉専門官)
 - 7つの分科会で研究協議
 - 記念講演 「地域を元気にする力」
講 師 落語家 三遊亭 鬼丸 氏

(3) 実習生の受入

相談援助実習	長野大学 3 年	2 人	(夏季	8 月 8 日～8 月 30 日)
		2 人	(春季	H30.2 月 13 日～2 月 23 日)
	長野大学 2 年	2 人	(春季	H30.2 月 14 日～2 月 23 日)
	日本福祉教育専門校	1 人	(春季	H30.3 月 5 日～3 月 14 日)
訪問介護実習	上田千曲高等学校 2 年	2 人	(H29.10 月 18～10 月 23 日)	
介護支援専門員実習		2 人	(H30.2 月 13 日, 14 日, 15 日)	

(4) 職員の講師等の派遣

- 介護支援専門員更新研修 1 人
 - ・期 日 平成 29 年 6 月 21 日 (水)
 - ・対象者 介護支援専門員実務経験者 72 人
- 介護支援専門員実務研修 1 人
 - ・期 日 平成 30 年 1 月 5 日 (金)
 - ・対象者 平成 29 年度介護支援専門員実務研修受講試験合格者 150 人
- 平成 29 年度パーソナルサポート事業 支援員研修 【初任者研修】 1 人
 - ・期 日 平成 29 年 5 月 9 日 (火)
 - ・対象者 生活困窮者自立相談支援事業従事者

4. 苦情対応

(1) 苦情受付状況

特になし

- (2) 苦情対応実践講座 平成 29 年 7 月 6 日 (木) 5 人出席

5. 連絡調整事業

(1) 福祉関係団体との連絡会議

- ・期 日 平成 29 年 4 月 24 日 (月) 福祉団体長会議
- ・期 日 平成 29 年 10 月 6 日 (金) 障がい者福祉のつどい実行委員会
- ・期 日 平成 29 年 12 月 8 日 (金) 同 反省会

(2) 民生児童委員会との協働

地域福祉事業の周知・啓発・事業に関する協力

福祉活動に対する助成金の交付
理事会・全体会への出席

(3) 社協法人会員の皆様へ社協事業に対する情報提供

(4) 社会福祉充実計画（困りごと相談）実績額 1,239,354 円

II 総合相談、支援事業の推進

1. 生活困窮者自立支援事業

(1) 自立相談支援事業

東御市生活就労支援センター「まいさぼ東御」は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困窮されている、または恐れのある方の総合的な相談窓口を東御市から受託し運営した。幅広い年齢層の相談があり、経済的困窮のほか、社会的孤立（ひきこもりや長期離職者等）や複雑な課題を抱えた世帯全体の相談を包括的に受け、就労や生活改善につながった。

<相談件数> *相談員：3人

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
新規相談件数	111 件	76 件	95 件
継続支援件数	260 件	439 件	延 430 件
プラン作成件数	35 件	39 件	45 件
相談対応件数	延 1,573 回	延 2,500 回	延 2,791 回

<新規相談件数の性別・年齢構成> 平成 29 年度

年代	20 歳未満	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～64 歳	65 歳以上	70 歳代	合計	不明
男	1	7	8	14	12	3	5	6	56	2
女	0	3	9	11	4	4	1	5	37	

<相談者の主な主訴と主な支援内容 上位 3 番目> 平成 29 年度

順位	主 訴	支援内容
1	仕事探し・就職	就労支援（一般）
2	収入・生活費	その他
3	病気・障害	医療・保健・福祉サービス

<法に基づく事業の利用> 平成 29 年度

制 度	件 数	利用後の経過
住居確保給付金	1 件	就労、家計相談支援、貸付、入居保障・生活支援事業
就労準備支援事業	9 件	就労、プチャアルバイト、認定就労訓練、障害手帳取得、福祉・医療サービス

認定就労訓練事業	5 件	認定就労訓練継続、就労、福祉・医療サービス
自立相談支援事業による就労支援	34 件	就労、プチバイト、認定就労訓練等
生活福祉資金等による貸付	9 件	食糧支援、就労
生活保護受給者等就労自立促進事業	1 件	

＜就労に関する実績（法に基づく事業以外）＞ 平成 29 年度

就労支援対象者数	就労者数	プチアルバイト事業 (就職活動応援金付職場体験事業)	職場見学	協力事業所開拓
28	24	8	4	12

＜住居に関する実績（法に基づく事業以外）＞ 平成 29 年度

長野県あんしん創造ねっと 入居保障・生活支援事業 1 件

(2) 家計相談支援事業

家計状況を家計表やキャッシュフロー表に整理し、相談者の家計管理の意欲を引き出す相談支援をした。また必要に応じ、債務整理や貸付のあっせんなどを行った。

＜利用件数と利用による改善状況＞

○利用件数（プラン作成件数） 6 件

○利用による改善の状況（利用件数 6 件のうち、改善状況を、1 件につき複数カウント）

内 容	件数	内 容	件数
自身の家計の現状把握	5	将来の収支変化の見通し	4
家計管理の重要性の認識	4	自立意欲の向上・改善	5
支出費目の優先順位位置付け	4	生活習慣改善	4
家計の範囲内での支出	3	対人関係・家族関係の改善	1

(3) 会議・研修等

支援調整会議 12 回 研修・支援員連絡会議 9 回 全県・広域会議 5 回

(4) 周知活動

市内団体が主催する学習会・講演会等にて事業説明 6 回

2. 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいのある判断能力が不十分な方々が、東御市で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などに関わる相談や金銭管理などの援助をした。

専門員：5 人 生活支援員：5 人

(1) 相談件数 延 4,807 件（新規・既契約含む）

専門員訪問調査回数	利用援助回数	ケース検討会議	書類等預かり件数
延 312 回	延 865 回	延 34 回	36 人 140 件

(2) 実利用者数 36人

	認知症	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
新規	1	2	0	0	3
解約	1	1	1	0	3
総件数	7	12	9	5	33

*新規契約件数 3件、解約件数 3件 (うち成年後見制度移行件数 0件)

(3) 専門員・支援員利用援助回数 延 865回

(4) 金銭管理、財産保全サービス事業 (市社協扱い) 契約件数 1件

3. 生活困難・困窮者への支援

(1) 生活支援の貸付相談件数 延 124件

(2) 生活資金貸付総件数 (市社協扱い)

◆生活資金(助け合い資金) 33件 540,833円

(3) 生活福祉資金貸付総件数 (県社協扱い)

◆緊急小口資金 1件 82,000円

◆総合支援資金 1件 222,000円

(4) 緊急食糧給付件数

○食糧支援用受入

種別	入庫件数	内容
個人寄付	3件	米 258.8kg
フードバンク信州	7回	※レトルト食品等
寄付金による食糧購入	2回	※レトルト食品等

(※アルファーマイ、缶詰、レトルト食品、味噌汁、カップめん等)

○食糧支援

支援世帯数：44世帯

延べ回数：68回

支援者	回数
東御市社会福祉協議会扱い	37
フードバンク信州	31

(5) 生活福祉資金等貸付相談嘱託員の設置 相談員 5人

・滞納世帯への訪問 102回

・償還延回数 23件

・償還額 23,000円

4. 結婚相談事業

467,716円

(1) 相談状況 相談員 5人

- ・相談日 毎週日曜日 午前9時～正午
- ・相談場所 中央公民館 学習室

開催日数	相談件数	相談登録者数	お見合い件数	結婚成立件数
47日	延 145件	116人 (男78人女38人)	23件	6件

(2) 東御市結婚活動支援実行委員会

- ・結婚相談員と社協事務局が実行委員として参加
- ・講演会及びイベントの協力(随時)

(3) 三市町村結婚相談員連絡会事業 (東御市、長和町、青木村)

① 三市町村との結婚相談員連絡会及び情報交換会

- ・年間(毎月開催)12回 参加人数 延56人

② 出会いのイベント

○婚活ミニイベント(春)

- ・期 日 平成29年4月30日(日)
- ・会 場 東御市中央公民館 1階 学習室1
- ・参加者 11名(男性6名、女性5名)
- ・内 容 ティータイム・トークタイム
- ・マッチング 1組

○婚活ミニイベント(秋)

- ・期 日 平成29年11月26日(日)
- ・会 場 MIMAKI
- ・参加者 10名(男性6名、女性4名)
- ・内 容 ティータイム・ミニゲーム・トークタイム
- ・マッチング 1組

Ⅲ 地域福祉活動

【地域ささえあい活動の支援・推進】

1. おらほの地域福祉づくり事業

<継続支部>

8支部

240,000円

支部	目的	取り組み内容
桜井	災害時支えあい台帳	支えあい台帳の更新及び支えあいマップの作成
金井	災害時支えあい台帳	支えあい台帳の更新
乙女平	災害時支えあい台帳	支えあい台帳の更新
田沢	災害時支えあい台帳	支えあい台帳の更新
海善寺北	災害時支えあい台帳	支えあい台帳の更新
大石	災害時支えあい台帳	支えあい台帳の更新
祢津南	地域の困りごと調べ	支えあいアンケートに基づく支えあい台帳の検討

新屋	災害時支えあい台帳	支えあい台帳の更新
----	-----------	-----------

<新規支部>

7支部

210,000円

支部	目的	取り組み内容
片羽	サロンの活性化	不参加者への取り組み、助け合い支えあいの連絡会議開催
西宮	サロンの活性化	区高齢者クラブと連携し参加者増の取り組み
伊勢原	地域の見守り活動	ひとり暮らし高齢者への意見聞き取り実施
海善寺	災害時支えあい台帳	支えあい台帳の更新
日向が丘	サロンの活性化	サロン活性化のための取り組み
上八重原	サロンの活性化	多世代交流の場としてサロンを開催
田楽平	サロンの活性化	サロン活性化のための取り組み

2. 支部福祉活動の支援

(1) 支部福祉活動助成金の交付 67支部 2,043,000円

(2) いきいきサロン等助成事業 1,493,570円

・実施支部 47支部 ・総参加者 10,308人

事業	会食会	茶会	世代間交流	ふれあい訪問
回数	215回	168回	3回	16回
参加者数	6,444人	3,801人	63人	

(3) 地区別地域福祉懇談会

・総参加者数 272人

・内容 社協の事業説明、福祉運営委員の活動説明、支部ごとの懇談等

地区	開催日	場所	人数
田中	平成30年2月21日(水)	中央公民館	66人
滋野	平成30年2月16日(金)	滋野コミュニティーセンター	54人
柰津	平成30年2月19日(月)	総合福祉センター	40人
和	平成30年2月23日(金)	和コミュニティーセンター	55人
北御牧	平成30年2月14日(水)	北御牧公民館	57人

(4) 地域活動援助講座

○ いきいきサロンのための料理講習会 2回

・対象者 各区福祉運営委員

・講師 東御市食生活改善推進協議会会員

期日	テーマ	参加者
6月17日(土)	笑顔で楽しい会話が弾む簡単おやつづくり	22人
8月8日(火)	作って楽しい、そして喜ばれるお茶請けレシピ	23人

(5) 地域の絆づくり支援事業

- ・レクリエーション用品の貸し出し
(ハンドベル、お手玉、輪投げ等ゲーム用具等) 139 件
- ・支部福祉活動の相談会 7 回

(6) 地域への出前講座 42 回

講 座	回数	講 座	回数
介護予防体操 (レクリエーション)	27 回	エンディングノート	3 回
認知症講座	4 回	レクリエーション等補助	7 回
振り込め詐欺等の話	1 回		

(7) 福祉運営委員長研修会

- ・期 日 平成 29 年 5 月 27 日 (土)
- ・参加者 福祉運営委員長 49 人 (65 人中)
- ・研修内容 ①地域福祉活動の推進について
②サロンで役立つ健康レクリエーション講座
(講師：身体教育医学研究所 横井 佳代氏)

3. 福祉のまちづくり講座「とうみ男の遊び塾」 45,542 円

◆延べ参加者 49 人 ◆参加申込者数 16 人

回数	開催日時	開催内容	開催場所	参加人数
1	11 月 15 日 (水)	男のコーヒー塾	総合福祉センター	10 人
2	12 月 20 日 (水)	男のカメラ塾	総合福祉センター	11 人
3	H30 年 1 月 17 日 (水)	男の書道塾	総合福祉センター	8 人
4	H30 年 2 月 28 日 (水)	男の信州、湯めぐり塾	山ノ内町	8 人
5	H30 年 3 月 14 日 (水)	男の料理塾	高齢者センター	12 人

4. 介護講座「あった介護教室」

- ・テーマ “腰を痛めない介護”
- ・期 日 平成 30 年 3 月 15 日 (木)
- ・会 場 東御市総合福祉センター2 階 高齢者センター大広間
- ・参加者 介護者及び介護に興味・関心のある者 15 名

5. 福祉自動車貸し出しサービス事業 394,591 円

- ・登録者 利用会員数 107 人
- ・利用延回数 94 回

6. 福祉用具貸与事業 274,752 円

貸出物品	備品台数	利用件数
介護用ベッド	60	77

車椅子	90	130
マットレス・エアマット	63	85
ポータブルトイレ	44	45
その他（歩行器等）	23	15
合 計	280	352
※車いすの利用件数の内、38 件は短期間の貸出件数		

【 共同募金配分事業 】

1. 高齢者への活動

(1) ひとり暮らし高齢者の福祉サービス

○ふれあい会食会 415,404 円

- ・期 日 平成 29 年 5 月 24 日（水）
- ・場 所 上山田温泉 圓山荘
- ・参加者 一人暮らし高齢者 68 人参加

○おせち料理 220,468 円

- ・期 日 平成 29 年 12 月 29 日（金）、30 日（土）
- ・調理ボランティア 女性民生児童委員 延 56 人
- ・訪 問 担当民生児童委員 延 57 人
- ・対象者

一人暮らし高齢者	高齢者世帯	父子家庭	障がい者世帯	合 計
113 人	8 世帯	2 世帯	5 世帯	128 世帯

(2) 敬老祝賀事業

○金婚祝賀 祝品（慶祝上の額）の贈呈 57,810 円

- ・金婚祝賀式典 平成 29 年 9 月 20 日（水）
- ・該当者 47 組
- ・会 場 中央公民館 講堂

○敬老祝賀 祝品の贈呈 696,000 円

- ・対象者 合計 222 人（米寿祝 207 人・白寿祝 15 人）
- ・祝賀訪問 51 人 平成 28 年 9 月 27 日～28 日

2. 障がい者への活動

(1) 障がい者福祉のつどい 243,850 円

- ・期 日 平成 29 年 11 月 25 日（土）
- ・会 場 中央公民館 講堂
- ・参加者 福祉団体等から 168 人
- ・内 容
 - ◆ アトラクション 「みんなで学ぶ手話教室」 聴覚障がい者松林氏
 - ◆ 講 演 『ともに生きる』～ 地域共生社会の実現を目指して～
特定非営利活動法人ノア 地域生活サポート事業部

小諸市地域活動支援センター「ユメオイビト」センター長 藤沢 雅実 氏
◆ 福祉団体交流会

(2) 障がい者社会参加支援事業助成 150,000 円

- ① 笹川スポーツ財団「チャレンジデー in 東御」における「ボッチャ」の実施
開催日 平成 29 年 5 月 31 日(水)
場 所 中央公民館・滋野公民館・ケアポートみまき
対 象 市民 参加人数：218 人
内 容 ボッチャのコートを常設
- ② パラリンピアンボッチャ交流イベントの開催
開催日 平成 29 年 7 月 1 日(土)
場 所 第一体育館
対 象 市民 参加人数：220 人
内 容 ボッチャの体験・パラリンピアンとの交流
- ③ ジャパンパラアイスホッケーチャンピオンシップ応援プロジェクト
開催日 平成 30 年 1 月 8 日(月)・13 日(土)
場 所 長野市ビッグハット
対 象 市民 参加人数：101 人
内 容 パラアイスホッケーの応援観戦
- ④ 車いすバスケット体験会
開催日 平成 30 年 2 月 27 日(火)
場 所 北御牧小体育館
対 象 同校 4・5 年児童 参加人数：87 人
内 容 車いすバスケット体験
- ⑤ ユニバーサルスポーツの場づくりへの支援
 - 1) 「わくわくスポーツクラブ」への支援
開催形態 平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月 全 9 回
毎月第 3 土曜日、いずれも 10：00～12：00
場 所 東御市第 2 体育館・ケアポートみまき・福祉センター
対 象 クラブ登録者 67 人 延参加人数：346 人
内 容 『ボッチャ』を中心とした活動。
 - 2) 2/18 ボッチャ交流大会開催支援
開催日 平成 30 年 2 月 17 日 (土)
場 所 北御牧中体育館
対 象 わくわくスポーツクラブ登録者、他 参加人数：18 チーム 100 人
内 容 ボッチャ交流大会
 - 3) 障がい者のスポーツ参加のきっかけづくり支援
 - 上小地区福祉施設連絡協議会 ボッチャ審判講習会・レク大会開催支援
 - デイサービスこころ ボッチャ審判講習会・交流会開催支援
 - 北御牧地区冬季スポーツ大会 ボッチャ競技支援
 - 長野県障がい者スポーツ指導者協議会 ユニバーサルスポーツ体験会支援

3. ボランティア活動

(1) ボランティア連絡協議会・ボランティア団体活動補助金(31 団体)の交付 575,000 円

- (2) 男性の料理サロン「楽ちん・しあわせごはん」 4回 70,920円

期 日	テーマ	参加者
平成 29 年 8 月 19 日 (土)	手羽先餃子 他	15 人
10 月 14 日 (土)	さんまのかば焼き 他	13 人
12 月 9 日 (土)	そばづくし	12 人
平成 30 年 2 月 10 日 (土)	みそ風味煮豚 他	13 人

4. 児童への活動

- (1) ひとり親家庭交流支援事業 744,500円
- ・期 日 平成 29 年 12 月 2 日 (土)
 - ・場 所 東京ディズニーランド
 - ・参加者 30 世帯 (大人 30 人・子供 34 人)
- (2) 福祉協力校の指定、活動助成 (8 校) 400,000円

5. 社会福祉の啓発

- (1) 社協報「ほほえみ」(ボランティア情報「かわら版」含)の発行 2,338,866円
- ・発行回数 年 6 回 奇数月の 16 日発行
 - ・発行部数 10,800 部
 - ・編集委員 3 人
- (2) 啓発パンフレットの作成、配布 172,800円
- ・「社協のしおり」600冊
- (3) ホームページでの情報発信 (リニューアル)
[アドレス URL <http://www.tomisyakyo.or.jp>]
- (4) 介護の日「福祉講演会」の開催 52,792円
- ・期 日 平成 29 年 11 月 11 日 (土)
 - ・場 所 東御市総合福祉センター 3 階 講堂
 - ・来場者 94 人
 - ・内 容 ◆講演「認知症を地域で支える」
～その前に私たちが考えておきたいこと～
講師 NPO 法人やじろべー 代表 中澤純一 氏

6. 多世代サロン

- (1) 多世代交流サロン “おいでよサンサン” 239,537円
- ・開催回数 合計 12 回 (H29.4~H30.3 各月 1 回)
 - ・参加者数 延 101 人 (乳幼児 4 人含)
男: 9 人 (" 3 人含) 女: 92 人 (" 1 人含)
 - ・内 容 子供から大人まで多世代にわたり交流する拠点づくりと、高齢者の生きが

いづくり、世代間の知恵の継承や情報伝達場の場づくり

IV 福祉教育、ボランティア活動の推進

1. 福祉教育の推進

<活動内容>

学校名	内 容
田 中	さんらいずホール・岩井屋・フォーレスト利用者との交流会、特別支援学級との交流会、福祉体験学習、赤い羽根共同募金など
滋 野	地域のお年寄りとの交流、保育園児との交流、福祉体験学習、エコキャップ回収、ユニセフ・赤い羽根共同募金、福祉講演会など
祢 津	ハーモニック東部との交流、祢津保育園との交流、ネットタイムで地域の方と交流、特別支援学級との交流、歌舞伎の発表、福祉体験学習、ユニセフ・赤い羽根共同募金など
和	和保育園との交流、特別支援学級との交流、福祉講演会、福祉体験学習、ユニセフ・赤い羽根共同募金、エコキャップ・アルミ缶・書き損じハガキ収集
北御牧	ケアポートみまき利用者との交流、北御牧保育園児との交流、通学路・バス停のごみ拾い、福祉体験学習、パラリンピックメダリストとの車いすバスケットボール体験など
東部中	道の駅「雷電くるみの里」の清掃、エコキャップ収集、福祉体験学習、福祉の森フェスティバル、赤い羽根共同募金、アルミ缶収集など
北御牧中	通学路清掃、人権教育講演会、高齢者との交流、敬老会参加、書き損じハガキ・アルミ缶・エコキャップ等の収集、赤い羽根の共同募金など
東御清翔高	全校クリーン作戦、子どもフェスティバル、ジュニア野外体験学習、ふれあいフェスティバル、人権平和学習、長野県高等学校総合文化祭、福祉の職場体験学習など

<福祉体験学習>

学校名	実施回数	講師	ボランティア	延人数	内 容
田 中	1回	1人		69人	福祉講演会
滋 野	3回	6人	15人	126人	車いす体験、対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、点字体験、福祉講演会
祢 津	2回	8人	21人	82人	手話体験、点字体験、車いす体験、対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、高齢者疑似体験
和	3回	3人		174人	アイマスク体験、福祉講演会
北御牧小	3回	8人	19人	121人	車いす体験、高齢者疑似体験、対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、手話体験、点字体験
北御牧中	1回	1人		225人	福祉講演会
東部中	5回	1人	14人	130人	らぶりー東御(車いす体験、手話体験、点字体験、福祉マップ作り)、手話体験

2. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアに関する登録・相談・情報提供・調整の状況

- ・ボランティア団体登録数 81 団体
 - ・ボランティアバンク登録者数 55 人 延 5,389 人
 - ・相談者数 3,395 人
(来所 1,408 人・電話 956 人・メール 318 人・訪問 101 人・その他 612 人)
 - ・相談件数 ボランティア依頼・受付・相談等 延 5,175 件
 - ・ボランティア依頼件数 音訳・点訳・施設ボラ、出前講座等 延 1,364 件
- (2) ボランティア活動保険の補助 合計 720 人 127,110 円
 加入者数 Aプラン 13 人
 Bプラン 707 人 (天災Bプラン 4 人含) (社協負担 210 円)
- (3) ボランティア連絡協議会の活動支援
- ① 自然を楽しむ会 (障がい者とボランティアの交流会)
- ・期 日 平成 29 年 5 月 29 日 (月)
 - ・場 所 びんぐし湯さん館周辺 (びんぐし湯さん館、さかき千曲ボラ公園など)
 - ・参加者 14 団体 67 人参加
- ② ボランティアセンター研修会
- ・期 日 平成 30 年 2 月 2 日 (金)
 - ・場 所 東御市総合福祉センター3 階講堂
 - ・参加者 20 団体 94 人参加
 - ・内 容 ①グループ発表
 - ・童謡唱歌「くるみの会」
 - ・本海野ボランティアグループ
 - ・とうみのだいどころ
 - ・手話サークルもみじ、てのひらの会
 - ・ハーモニカクラブ
 ②昼食交流会とアピールカード紹介
 ③レクリエーション
- (4) 第 41 回信州発ボランティア・市民活動フォーラム
- ・期 日 平成 29 年 10 月 28 日 (土)
 - ・場 所 上山田文化会館、千曲市総合観光会館
 - ・参加者 福祉の森ふれあいフェスティバルと日程が重なったため不参加

3. ボランティアの養成、研修

- (1) 夏のボランティア体験教室 (サマーチャレンジボランティア)
- ・期 日 平成 29 年 8 月 11 日 (金)
 - ・場 所 東御市総合福祉センター ボランティアルーム及び 3 階講堂
 - ・内 容 障がい者との交流体験 (五平餅づくり、ボッチャ体験)
 - ・参加者 27 人 (体験者 11 人・講師 5 人・協力者 4 人・ボランティア 2 名・
実習生 2・社協 3 人)

- (2) 手話ボランティアスキルアップ講習会 5回
- ・期 日 平成29年6月18日、7月23日の午前・午後各1回
平成29年10月21日
 - ・内 容 ①初心者コース2回 ②充実コース2回 ③特別コース1回
 - ・参加者 延 58人
- 講 師 長野県聴覚障害者協会登録講師 矢野 吉江 氏
本木 理恵 氏
全日本手話通訳士協会理事 武居 みさ 氏
- (3) 音訳ボランティア養成セミナー 4回
- ・期 日 平成30年1月16日、1月31日、2月13日、2月22日
 - ・会 場 総合福祉センター ボランティアルーム
 - ・参加者 延 29人 (りらの会入会4人)
 - ・講 師 元SBCアナウンサー 大久保智恵子 氏、音訳利用者 広沢里枝子 氏
りらの会会員、社協職員
- (4) 音訳スキルアップ講習会 4回
- ・期 日 平成29年9月1日、9月20日、10月19日、11月7日
 - ・参加者 延 27人
 - ・内 容 朗読技術向上
 - ・講 師 元SBCアナウンサー 大久保 知恵子 氏
- (5) 災害ボランティア養成講座
- ・期 日 平成30年3月10日 (土)
 - ・会 場 総合福祉センター 3階講堂
 - ・内 容 講演会・ワークショップ
「被災時における災害ボランティアセンターの初動体制を学ぶ」
 - ・参加者 77名 (ボランティア連絡協議会構成員29名・社協職員17名・実習生1名
登録災害ボランティアサポーター20名・民生児童委員10名)

4. 福祉の森ふれあいフェスティバル 400,000円

- ・期 日 平成29年10月28日 (土)
- ・会 場 東御市総合福祉センター
- ・参加者 参加総数1,300人 (協力団体50団体 ボランティア300人)
- ・内 容
 - ①福祉体験コーナーの設置 (手話、点訳、車イス体験等)
 - ②障がい者施設の作品を展示・販売、喫茶コーナーの設置
 - ③ボランティア団体の活動発表 (展示・体験・舞台)
 - ④ふれあいコンサート
 - ⑤福祉協力校 (市内小中学校) で取り組む福祉体験学習の紹介
 - ⑥模擬店

5. 福祉施設ボランティア担当者連絡会議

- ・期 日 平成 29 年 5 月 17 日 (水)
- ・参加者 9 人
- ・内 容 ボランティア受入の意見交換について

6. ボランティアセンター運営委員会の開催

- ・期 日 平成 29 年 7 月 26 日 (水)
- ・参加者 15 人
- ・内 容 ボランティアセンターの現況と今後の課題について

V 在宅福祉サービス・支援事業

1. 高齢者支援

(1) 介護予防事業の運営 (市受託) 6,705,633 円

介護予防事業	利用実人員	延利用者	実施日数	一日平均
ミニディサービス (火) ~ (金)	44 人	1,430 人	182 日	7.9 人
筋トレ教室 (月)	8 人	168 人	46 回	3.7 人

(2) こんにちは訪問事業 (安否確認事業) (市受託) 26,460 円

- ・4 支部 利用者実人数 5 人
- ・訪問活動者実人数 16 人
- ・ヤクルト配布本数 490 本

(3) 寝具洗濯乾燥サービス事業 (市受託) 456,539 円

- ・実施回数 2 回 (6 月 11 月)
- ・利用実人数 63 人
- ・利用者数 延 92 人
- ・利用枚数 175 枚
- ・対象者 寝具の衛生管理が困難な者

(4) 在宅介護者リフレッシュ事業 (市受託) 185,385 円

- ・実施回数 3 回
- ・内 容 健康相談、介護技術講習、健康体操、介護者交流、元気回復等

実 施 日	場 所	参加者
平成 29 年 6 月 19 日 (月)	須坂市 黒岩果樹園、湯つ蔵んど	3 人
平成 29 年 11 月 10 日 (金)	群馬県・埼玉県 上里カンターレなど	10 人
平成 30 年 3 月 28 日 (金)	佐久市 ぴんころ地蔵、みはらしの湯	7 人

(5) 寝たきり高齢者希望の旅事業 228,336 円

- ・期 日 平成 29 年 6 月 21 日 (水)

- ・場 所 松本市「松本市美術館」
安曇野市「大王わさび農場」「安曇野アートヒルズミュージアム」
- ・内 容 バス旅行、交流会、福祉相談
- ・参加者 要介護者 8人 家族介護者 4人
介助ボランティア7人 社協職員 2人 計 21人

(6) 家族介護者サロン“太陽の会” 交流会

- ・期 日 平成29年5月17日、9月20日、平成30年1月17日
- ・会 場 高齢者センター 大広間
- ・参加者対象者 19人 延15人

2. 障がい者支援

(1) 重度障がい者希望の旅事業 284,468円

- ・期 日 平成29年9月2日(土)
- ・場 所 群馬県富岡市「富岡製糸場」 高崎市「高崎ビューホテル(昼食)」
埼玉県上里町「上里カンターレ」
- ・参加者 心身障がい者 12人 介護者 6人
ボランティア 10人 社協職員 2人 計 30人

(2) 視覚障がい者への音訳、点訳サービス支援 419,713円

- 利用者 7人
- ・音訳・・・市報、市報お知らせ版、社協報、他
- ・点訳・・・生涯学習カレンダー、選挙公報、社協報、他

VI 介護保険事業と障害福祉サービス

1. 訪問介護事業(ホームヘルプサービス)

(1) 訪問介護・介護予防日常生活支援総合事業(訪問介護相当サービス)

要介護又は要支援の認定を受けた方を対象に、訪問介護計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護及び生活援助等のサービスを提供した。

重度の利用者の入院・死亡や、自宅で介護保険のサービスを利用しながら生活される利用者も減る傾向にあり、利用者の減少につながった。

- ホームヘルパー数 11人
- 利用総数 延 404件

<介護度別 延利用者数>

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
29年度	37	52	101	70	60	41	43	404
割合	9%	13%	25%	17%	15%	10%	11%	100%
28年度	38	63	128	65	64	52	57	467

<月別利用者数 要介護1～5> 利用実人員 37人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
29年度	27	28	28	29	27	26	26	27	25	24	24	24	315
28年度	39	38	34	33	32	32	30	27	25	24	25	27	366

<月別利用者数 要支援1・2> 利用実人員 12人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
29年度	9	9	7	8	7	7	7	8	7	7	7	6	89
28年度	8	8	8	7	8	8	8	8	10	9	10	9	101

<サービス内訳>

サービス名	予防介護		身体介護		身体・生活		生活援助		総合計	
	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間
29年度	348	348	3,126	2,184	433	449	714	379	4,621	3,360
月平均	29	29	261	182	36	37.4	59.5	31.5	385	280
28年度	437	437	4,389	2,839	451	442	865	482	6,142	4,200

(2) 障害福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

障害程度区分認定を受けた方のうち、介護給付費支給決定を受けた方を対象に、居宅介護等計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護、家事援助及び外出時介助等のサービスを提供した。

介護保険事業と比較し、障害サービスは専門資格及び経験が必要であるため研修の受講・資格取得等、今後どのようにしていくか検討が必要である。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
29年度	10人	81人	828回	1,090.25時間
28年度	7人	57人	685回	1,040.25時間
増減	3人	24人	143回	50時間

(3) 地域生活支援事業（移動支援事業）

障害程度区分認定を受けた方のうち、社会参加(買い物等)外出に係る支援が必要な方に対し、ホームヘルパーを派遣して外出介助等の必要なサービスを提供した。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
29年度	3人	26人	270回	274時間
28年度	1人	12人	226回	226時間
増減	2人	14人	44回	48時間

(4) ほほえみサービス事業（自費サービス）

制度外のサービスを希望される方に対し、ホームヘルパーを派遣し希望されるサービスを提供した。独居・老世帯の方の入院中の洗濯サービス等、制度では対応できないニーズへの対応を図った。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間	家事援助	通院介助	身体
29年度	5人	33回	15人	35.5時間	33回	0回	0回
28年度	5人	51回	16人	56.5時間	49回	2回	0回
増減	0人	-18回	-1人	-21時間	-16回	-2回	0回

(5) 内部研修

毎月1回、ヘルパー全員参加での研修を実施。外部研修へ参加、サービスの質の向上や法令順守等の定期的な研修を企画・実施した。

認知症研修等必要とされる研修の他にも、日々の訪問業務の中での実技研修等、その時々状況に即した内容の研修となるように努めた。

<定例会議・研修実績>

月	研 修 内 容
4月	・認知症について
5月	・認知症基礎研修 ・観察と記録の書き方 演習 ・精神疾患の方への対応
6月	・応急手当講習参加 ・事例検討 情対応実践講座・苦情の事例検討
7月	・身体介護技術研修 ・苦情対応実践講座
8月	・認知症基礎研修 ・認知症の方への身体介護技術
9月	・実践研修 精神疾患の方への対応 声がけについて ・同行援護従事者養成研修会
10月	・実技研修 ・認知症基礎研修 ・同行援護従事者養成研修会
11月	・自己評価について
12月	・コミュニケーションの技術
1月	・認知症 精神疾患の方への接し方 ロールプレイ
2月	・実践研修 手浴 足浴 清拭
3月	・障がい者の理解（発達障害について）

2. 居宅介護支援事業

市から介護予防支援事業の一部を受託し、要支援認定を受けられた方も、要介護認定を受けられた方も各種のサービスなどを利用しながら自宅でその人らしい生活ができるよう、本人、家族等に寄り添い、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成、各サービス事業所との連携調整を図り、継続的な利用者の心身状況・生活状況等、サービス利用状況等の確認を実施した。

また、広域連合からの介護認定調査の受託や、特定事業所加算Ⅱ算定事業所であるため、地域包括支援センターからの対応困難ケースの受け入れにも積極的に取り組み、毎朝のミーティングを行う等、ケースの情報の共有や定期的・計画的な研修の実施を行う等職員のスキルアップも図り体制の強化に努めた。今年度はケアマネ実習生2名をそれぞれ3日間受け入れた。

○ケアマネージャー人数 5人

○利用総数 延 1,599件

<活動状況>

業 務	介護	介護予防	計
ケアプラン作成総件数（給付管理件数）	1,512件	87件	延 1,599件
モニタリング訪問件数	1,512件	30件	延 1,542件
要介護認定調査（広域連合から）	30件	0件	実績 30件
担当者会議開催件数	200件	8件	延 208件
アセスメント実施件数	200件	8件	延 208件
事例検討実施件数	18件	0件	延 18件
対応困難ケース受け入れ件数	8件	0件	延 3件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

		28年度実績	29年度実績	増減
延作成件数	介護	1,639件	1,512件	-127件
	支援	46件	80件	+34件
月平均	介護	136.5件	126件	-10.5件
	支援	3.8件	6.6件	+2.8件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

○要介護 ※猛暑・冬季の感染症等の影響や入院・入所・死亡者もあり、利用者数の減少につながった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
29年度	130	126	132	129	124	127	128	126	128	121	117	124	1,512
28年度	136	139	138	137	140	144	143	140	136	127	129	130	1,639

○要支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
29年度	5	6	6	9	7	7	8	8	8	8	8	7	87
28年度	4	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	5	46

<介護度別ケアプラン作成件数>

○要介護

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
件数	536	447	277	138	114	1,512
月平均	44.6	37.2	23	11.5	9.5	126

○要支援

介護度	支援 1	支援 2	計
件数	28	59	87
月平均	2.3	4.9	

<研修実績>

月	研 修 内 容
4 月	・2018 年度医療介護同時改正に向けてケアマネージャーの役割に関するセミナー
5 月	・介護支援専門員更新研修 (3 日間)
6 月	・医療連携の仕方 (介護支援専門員協会) ・医療連携病院における退院支援の現状とは ・福祉用具活用研修・在宅介護家族のメンタルヘルス講演会 ・介護支援専門員更新研修 (3 日間) ・介護保険事業所研修会 ・応急手当講習
7 月	・苦情対応実践講座
8 月	・介護保険事業所研修会 ・ケアマネっと部会：意見交換会・交流会 (民生委員)
9 月	・ケアマネット部会：押さえておきたい税金の話・総合事業はどうなっているの？ ・嚥下障害研修会 (市民病院) ・第 1 回上小医療介護連携推進研究会
10 月	・ケアマネット部会：看取りを振り返って ・神経難病の理解 ・地域包括ケアを考える ・日日館事業所報告会 ・介護保険制度の改正と巡回・随時対応型サービスの理解と活用 ・ケアプラン立案方程式
11 月	・ケアマネット部会：障害者のケアマネジメントについて ・多職種連携：本人・家族の思いのずれで悩む私たち ・福祉講演会 ・災害時における介護支援専門員の役割・地域包括ケアの重要性 ・介護予防ケアプランの作成の視点 ・大人の発達障害

12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ必要書類作成ポイント ・ケアポートみまき事業所報告会 ・認定調査員現認研修 ・認知症サポーターステップアップ講座指導者養成研修 ・多職種連携会議：当市投資の到着訪問における薬局の役割
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネット部会：事例検討会 ・多職種連携：医療と介護の連携を考えるシンポジウム
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン点検 ・多職種連携会議：介護支援専門員の役割と求められること
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携会議：地域医療を知る ・ケアマネット部会：自立を目指したケアプラン

<その他の活動>

通常業務のほか、事業所の知名度の向上を図るための情報発信等にも取り組みました。

- ・東御市民間事業所連絡協議会への参加
- ・広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載

Ⅶ その他の福祉活動支援

1. 共同募金支会事業

(1) 赤い羽根イベント・募金活動

○街頭募金の実施（ボランティア延べ45人が参加。職員は原則2名）

実施日		場所	
10月1日(日)	道の駅「雷電くるみの里」 火のアートフェスティバル	10月2日(月)	やおふく
10月4日(水)	田中駅	10月6日(金)	デリシア
10月10日(火)	ベイシア	10月11日(水)	道の駅「雷電くるみの里」
10月15日(日)	道の駅「雷電くるみの里」	10月16日(月)	デリシア
10月20日(金)	湯楽里館	10月23日(月)	田中駅
10月24日(火)	ベイシア	10月29日(日)	道の駅「雷電くるみの里」

○福祉の森ふれあいフェスティバルで風船サービス、募金活動

協力者 市内ボランティア、小学校5校、中学校2校、高等学校1校、専門学校1校

○戸別募金・・・行政区ごと支部長へ依頼

○学校での赤い羽根募金の取り組み 市内小中学校7校へ依頼

○職域募金の依頼 東御市役所職員、信州うえだ農協職員、東御市社協職員

○東御市振興公社 温泉施設へ募金箱設置の依頼

○市内大手スーパー店頭へ募金箱設置の依頼

○市内企業（株式会社、有限会社等）へ企業募金の依頼

○自動販売機募金 道の駅「雷電くるみの里」、武道館、湯楽里館、総合福祉センター

(2) 赤い羽根、歳末助け合い共同募金収納結果

◎平成 29 年度赤い羽根募金収納総額

6,445,113 円

<募金別内訳>

募金の種類	金額	内訳
戸別募金	5,975,328	6,827 戸
街頭募金	65,424	市内 8 か所で実施
法人募金	104,000	18 法人
学校募金	36,327	市内 5 校
職域募金	61,736	
イベント募金	28,861	
店頭、窓口募金、預金利子他	44,053	募金用通帳預金利子 29 円含
送金合計	6,315,729	
自動販売機募金	129,384	県共同募金会へ直説送金
収納総額	6,445,113	

(3) 共同募金会からの配分事業

◎29 年度の市社協の地域福祉事業へ配分実績

4,985,525 円

(平成 28 年度の収納額 6,725,394 円の実績から、東御市への配分金)

<事業別配分内訳>

事業	金額	事業	金額
広報活動	2,050,525	ボランティア活動	450,000
障がい者への活動	250,000	啓発活動	156,000
児童への活動	775,000	多世代サロン	171,000
高齢者への活動	1,133,000	合 計	4,985,525

(4) 災害見舞金

・住宅火災 3 件 被災者 7 人 30,000 円

2. 日本赤十字社事業

(1) 日赤奉仕団総会及び活動資金募集会議

- ・期 日 平成 29 年 4 月 17 日 (月)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 講堂
- ・参加者 80 人
- ・内 容 奉仕団総会 研修会 活動資金募集について

(2) 活動資金募集総額 支援者数 5,710 人 4,174,120 円

(3) 健康生活支援講習会

- ・期 日 平成 29 年 6 月 26 日 (月)
- ・場 所 高齢者センター
- ・参加者 70 人
- ・内 容 災害が起こった時の高齢者への生活支援
講 師 日赤長野県支部 指導講師 篠原 雅子 氏
白石 真紀 氏

(4) 一日赤十字 (炊き出し及び救急法講習会)

- ・期 日 平成 29 年 8 月 7 日 (月)
- ・場 所 高齢者センター
- ・参加者 69 人
- ・内 容 心肺蘇生法 (AED講習) 非常食の作り方・試食
- ・講 師 東御消防署職員 救急救命士 2 人
協力者 グリーンアルテミス 5 人

※9 月 3 日 (日) 市の総合防災訓練で、各分団で非常食の炊き出し等行う

(5) 日赤奉仕団視察研修会

- ・期 日 平成 29 年 12 月 6 日 (水)
- ・参加者 19 人
- ・場 所 特定医療法人 新生病院

(6) イベント協力 赤十字活動

○子どもフェスティバルで非常食 (ハイゼックス) おにぎり体験 442 食

- ・期 日 平成 29 年 5 月 13 日 (土)
- ・協力者 11 人

○赤い羽根該当募金への協力

- ・期 日 平成 29 年 10 月 1 日 (土)
- ・協力者 31 人

○福祉の森ふれあいフェスティバルへの協力

非常食 (ハイゼックス) おにぎり体験 420 食

- ・期 日 平成 29 年 10 月 28 日 (土)
- ・協力者 14 人

○「障がい者福祉のつどい」の湯茶接待

- ・期 日 平成 29 年 11 月 25 日 (土)
- ・協力者 6 人

(7) 施設ボランティア活動体験 参加者 34 人

- ・期 日 平成 29 年 11 月 27 日 (月) ~12 月 2 日 (土)
- ・場 所 市内福祉施設 ケアポートみまき 13 人、フォーレスト 11 人、
ハーモニック東部 12 人

(8) 災害見舞

・住宅火災 3件 被災者 7人 毛布 7枚

3. 被災者義援金

(1) 東日本大震災 (平成29年4月1日～平成30年3月31日現在)

29年度	13件	190,743円	
(23年からの累計)	1,110件	40,427,120円)	

(2) 平成28年熊本地震 (平成29年4月1日～平成30年3月31日現在)

29年度	2件	151,055円	
(28年からの累計)	99件	4,772,178円)	

4. 社会福祉団体活動の支援

(1) 福祉団体交流ゲートボール大会

- ・期日 平成29年6月5日(月)
- ・参加者 6団体
- ・参加者 101人

(2) 福祉団体活動補助金 1,440,000円

○身体障害者福祉協会	420,000円
○高齢者クラブ連合会	150,000円
○手をつなぐ育成会	120,000円
○遺族会	530,000円
○更生保護女性会	60,000円
○保護司会	160,000円
合計	1,440,000円